



【 ローマ人への手紙 】

- 4:23 しかし、「彼には、それが義と認められた」と書かれたのは、ただ彼のためだけでなく、
- 4:24 私たちのためでもあります。すなわち、私たちの主イエスを死者の中からよみがえらせた方を信じる私たちも、義と認められるのです。
- 4:25 主イエスは、私たちの背きの罪のゆえに死に渡され、私たちが義と認められるために、よみがえられました。
- 6:1 それでは、どのように言うべきでしょうか。恵みが増し加わるために、私たちは罪にとどまるべきでしょうか。
- 6:2 決してそんなことはありません。罪に対して死んだ私たちが、どうしてなおも罪のうちに生きていられるでしょうか。
- 6:3 それとも、あなたがたは知らないのですか。キリスト・イエスにつくバプテスマを受けた私たちはみな、その死にあずかるバプテスマを受けたものではありませんか。
- 6:4 私たちは、キリストの死にあずかるバプテスマによって、キリストとともに葬られたのです。それは、ちょうどキリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも、新しいいのちに歩むためです。
- 6:5 私たちがキリストの死と同じようになって、キリストと一つになっているなら、キリストの復活とも同じようになるからです。
- 6:6 私たちは知っています。私たちの古い人がキリストとともに十字架につけられたのは、罪のからだが減ぼされて、私たちがもはや罪の奴隷でなくなるためです。
- 6:7 死んだ者は、罪から解放されているのです。
- 6:8 私たちがキリストとともに死んだのなら、キリストとともに生きることもなる、と私たちは信じています。
- 6:9 私たちは知っています。キリストは死者の中からよみがえって、もはや死ぬことはありません。死はもはやキリストを支配しないのです。
- 6:10 なぜなら、キリストが死なれたのは、ただ一度罪に対して死なれたのであり、キリストが生きておられるのは、神に対して生きておられるのだからです。

* 特に断りがない限り、新改訳2017より使用



「 イエス・キリスト復活～その証拠と成果 」

「イースターを覚えて③ コリント人への手紙第一15:1~4ほか 小野寺 望 牧師

【 コリント人への手紙第一 15章 】

- 1 兄弟たち。私があなたがたに宣べ伝えた福音を、改めて知らせます。あなたがたはその福音を受け入れ、その福音によって立っているのです。
- 2 私がどのようなことばで福音を伝えたか、あなたがたがしっかり覚えているなら、この福音によって救われます。そうでなければ、あなたがたが信じたことは無駄になってしまいます。
- 3 私があなたがたに最も大切なこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。キリストは、聖書に書いてあるとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、
- 4 また、葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりに、三日目によみがえられたこと、
- 14 そして、キリストがよみがえらなかったとしたら、私たちの宣教は空しく、あなたがたの信仰も空しいものとなります。

(4ページへ続く)



◆はじめに ～メシアの受難と復活を覚えて

1. 「メシアの復活」：その人の人生観を左右する問題

- (1) イエス復活は本当にあったのか
- (2) 死後のいのちはあるのか。また生きる目的は何か。

2. 復活は福音に欠かせない要素である。 1コリ15：1～4

- (1) 福音の3要素「死」「葬り」「復活」
 - ①復活は一見自然法則から離れているように見え、つまづきになる。
 - ②復活はキリスト教信仰の中で、もっとも譲れない要素である。1コリ15：14

◆メッセージのアウトライン紹介とゴール

| 復活、昇天は教会時代への架け橋

*このメッセージは、イエスの復活を確信し、美しい神の計画を褒めたたえるものである。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

I メシア復活の証拠

1. 多くの目撃者：①ペテロの主張 使2：32 ②パウロの主張 1コリ15：6

2. 復活のイエスを目撃した人々

- ①マグダラのマリヤ (ヨハ20：11～17、マコ16：9～11)
- ②婦人たち (マタ28：9～10)
- ③ペテロ (ルカ24：34、1コリ15：5)
- ④エマオ途上の弟子たち (マコ16：12～13)
- ⑤トマス以外の10人の弟子たち (ヨハ20：19～24)
- ⑥11人の弟子たち (ヨハ20：26～29)
- ⑦ガリラヤ湖で7人の弟子たち (ヨハ21章)
- ⑧イエスの弟ヤコブ (1コリ15：7)
- ⑨ガリラヤの山で11人の弟子たち (マタ28：16～20)
- ⑩昇天に立ち会った弟子たち (ルカ24：44から53、使1：3～9)
- ⑪ステパノ (使7：55～56)
- ⑫パウロ (使9：3～6、26：13～18、1コリ15：8)
- ⑬ヨハネ (黙1：12～20)

3. 空になった墓：マタ28：6など *ユダヤ教は弟子による盗難と言いつ張る (マタ28：11～15)

4. 変えられた弟子たち：不信仰な者から、いのちを懸けて福音の伝える者に

5. 週の初めの日 (日曜日) の習慣

6. 使徒の働きに見られる、聖霊の活動：復活と昇天により、新しい時代に入った。

II イエス復活の結果

1. イエスの信頼性が証明された (1) イエスキリストについての3つの立場

- ①イエスは誰か：a.嘘つき b.精神異常者 c.神の子
- ②イエスは預言者であり、【主】(ヤハウェ)ご自身であられる。

2. 福音の信頼性が証明された

- (1) 福音の二大要素は、死と復活である。(埋葬は死んだことの証明)
 - ①イエス自身が十字架と死をセットで預言。*マタ16：21、ヨハ2：19～22など
 - ②旧約聖書もメシアの復活(死んでいることが前提)を預言している。
 - a.詩篇16：9～10 *ペテロはイエスにあって成就したと宣言。使2：24～31
*パウロも同様の結論に至る。使14：34～37
 - b.詩篇22：22 *22篇では、死から解放されたメシアが神をたたえる。
 - c.詩篇118：22～24 *メシアの高揚の預言
*メシア復活の預言と解釈している 使4：10～11
 - d.その他の聖徒たちによる記事 ～「復活」という現象があり得ることの証言
*ヨブ(ヨブ19：25～27)：「贖い主」(ゴエル)への言及
→旧約聖書はそれが神であり、新約聖書はそれをイエス・キリストと証言する。
前者は出6：6、詩19：14、イザ41：3など、後者はエペ1：1、ヘブ9：12、Iペテ1：18～19
 - ③復活の型：メルキゼデク(創14：18、ヘブ7章)、2羽の鳥(レビ14：4～7)
初穂の祭り(レビ23：10～11)、芽を出したアロンの杖(民17：8)

(2) 福音は信頼できる 1コリ15：3～8、13～19、ロマ4：25

3. 復活のからだ初めて登場した。

- (1) それまでの復活は、厳密には蘇生である。(つまりまた死ぬ)
- (2) イエスの復活のからだには、新しい要素が含まれた。
 - ①締め切った部屋に入ることができる。ルカ24：36、ヨハ20：19
 - ②現れたり、消えたりする。ルカ24：15 ③栄光の姿に変えられた。黙1：12～16

4. 死者の復活の初穂である。

- (1) 後に続くものがあるから「初穂」と呼ぶ コロ1：18、黙1：5
- ①「新しいからだ」1コリ15：35～44 ②「キリストに似た者」1ヨハ3：2

◆まとめ：復活、昇天は教会時代(恵みの時代)への架け橋

1. 復活後の働きが可能になった。～信者と共にある主

- ①イエスは大祭司、仲介者、教会の頭である ②弟子たちに権威と聖霊を与えた。
- ③私たちの内に内住されるお方 ロマ6：1～10

2. ダビデ契約が成就した。～恵みの時代の先にある千年王国をも保証している。

- ①ダビデの子孫が永遠の王位に就く
2サム7：12～16 詩89：20～37、ルカ1：31～33、使2：25～31

3. 今の歩みも将来の計画にも、復活は大きな意味を持つことを喜ぼう。

- ①人生観、世界観を変えられた者の歩みは、希望に溢れている。

